

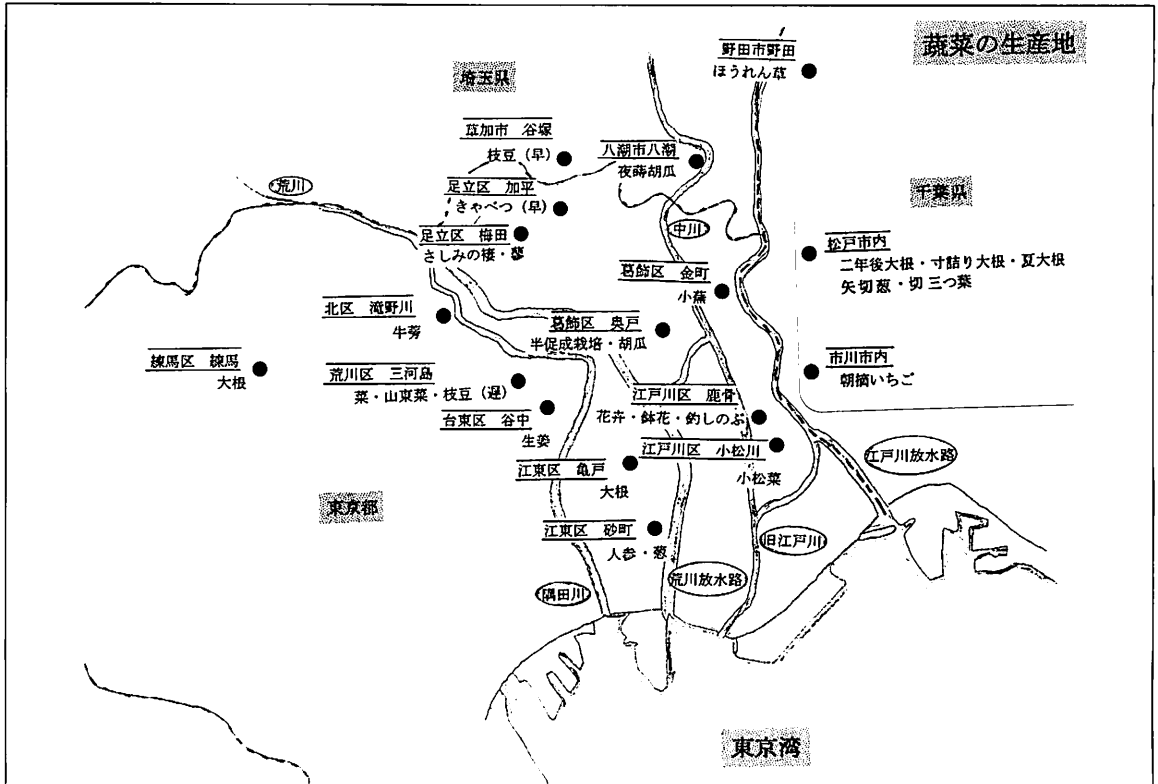
みず 水

ぐるま 車



(財)新松戸郷土資料館館報

第18号



財団法人 新松戸郷土資料館

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-27

新松戸市民センター(三階)

TEL 047-344-1909
FAX

発行年月日 平成17年3月末日

もくじ

蔬菜の生産地 表紙

市場と符丁

- 青果卸、川魚卸、市場・せり場(関東)、海産物商、青果商(一)、青果商(二)、市場・せり場(関西)、その他、魚商(一)、魚商(二)、魚商(三)、料理屋、宿屋……………2
- 松戸北部市場と符丁 指やり……………2~3
- 日誌抄・ご案内・編集後記……………4

市場と符丁

市場では、符丁という商品の値段を示す隠語が使われます。わり符とか合言葉ともいわれます。業種によつて符丁は違いがあります。

青果商 (一)

- 一ーそく 二ーぶり 三ーきり
- 四ーだれ 五ーがけ 六ーろーじ
- 七ーさいな 八ーばんど
- 九ーきーわ

市場・せり場 (関西)

- 一ーびん 二ーべん 三ーげた
- 四ーだり 五ーめのじ 六ーぼう
- 七ーせいなん 八ーばんど
- 九ーきわ 十一ーびんびん
- 十二ーちようにんべん
- 十三ーそつきり 十四ーそくだり
- 十五ーちようつら
- 二十ーべんなら 二十三ーのさん
- 三十五ーげため 四十五ーだりはん
- 六十五ーぼうつら

その他

- 一ーちよん 二ーぶり 三ーやみ
- 四ーだり 五ーがれん 六ーろん
- 七ーせえなん 八ーばんど
- 九ーがけ (三ーげたともいう)

海産物商

- 一ーや 二ーす 三ーく 四ーう
- 五ーれ 六ーよ 七ーろ 八ーこ
- 九ーぶ

青果商 (二)

- 一ーう 二ーめ 三ーや 四ーさ
- 五ーく 六ーら 七ーま 八ーつ
- 九ーた 十ーけ

魚商 (三)

- 一ーあ 二ーき 三ーな 四ーい
- 五ーの 六ーし 七ーや 八ーわ
- 九ーせ

料理屋

- 一ーね 二ーこ 三ーか 四ーじ
- 五ーれ 六ーき 七ーや 八ーく
- 九ーる

宿屋

- 一ーしよこ 二ーりよこ
- 三ー川よこ 四ー月よこ
- 五ーきんほう 六ーてんほし
- 七ーはがよこ 八ーむかえ
- 九ーうらさ

松戸北部市場と符丁

松戸の市場は、戦後松戸市内での野菜生産が盛んになったことよつて出来ました。市内に二十二ヶ所の市場が開かれました。しかしその後自家用のオート三輪車が出回り、輸送が楽になりはじめると、東京の市場に出荷する人も増えてきました。その為、に小規模な市場がなくなり、四、五ヶ所の市場だけが残りしました。国の指導では市内に一ヶ所の流通センター(公設市場)を作れということでしたが、松戸では南北に市場ができました。北部の市場は築地の丸果

市場を母体として、松戸農協と小金にあつたゴールド青果が協同で昭和四十三年に創業し現在に至つています。北部市場では、次のような符丁が使われていました。土浦の私設青果市場の符丁も参考資料として掲載します。

松戸北部市場		土浦の私設青果市場	
1	チョン(ソク)	1	ズベ(チョン)
2	ブリ(クノジ)	2	ベン
3	ゲタ(スノジ)	3	ウロ
4	ダリ(テノジ)	4	ダリ
5	ゴツトリ	5	メノジ(ゴツトリ)
6	ロッパ(ロシ)	6	ポー
7	セイナン	7	ナノジ (セイナン)
8	バンド	8	バンド
9	ガケ(キュウ)	9	キワ
10	チョウ	10	チョウ
11	ドーク	11	チョンチョン
12	チョンブリ	12	チョンニベン
13	サンモン	13	チョンサンモン
14	シモン	14	チョーダリ
15	チョンメ (チョンガレ)	15	チョンガー
16	ソクロン	16	チョンボー (ソクロン)
17	チョンシチ	17	チョンシチ
18	ソクバン	18	チョーバ

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
ヨンナラ	ダリサン	ダリフリ(ダフ)	ダリイチ	シカン	サンキユウ	サンバチ(サンビ)	サンシチ	サプロク	ケタメ	ケタダリ	サシロ(サシ)	サンプリ	サンビン	サンガン	ブリキユウ	ブリバン	ニシチ	ニロク	ヤッコ(ヤク)	ノシ(フリタン)	ノサン	ナラビ	ノイチ	ニカン	ソクキユウ

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	
ヨンサン	ヨンサン	ヨンニ	ヨニイチ	ダリ(ヨツヤ)	サンキユウ	サンパー	サンシチ	サプロク	ウロハン	サンシ	サンゾロ	サンニ	サンイチ	ウロ	(ニキウ)	ニキユウ	ニンパー	ニシチ	ニンボー	ヤッコ	ニヨン	ニサン	ベンナラ	ベンチヨ	ベン	チヨンキワ

71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
セイナン					ロンメ					ロツボー		ゴッパ	ゴビチ	ゴロク	メナラ	ゴダリ	ゴッサン	ゴトプリ	ゴイチ(ゴピン)	ゴツトリ	ダリキユウ	ダリハチ	ダリシチ	ダリロク	ダリロク	ダリハン

71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
ナナイチ	ナノジ	ロクキユウ	ロクハチ	ロクシチ	ロクロク	ポーツラ	ロクヨン	ロクサン	ロクニ	ロクイチ	ボー	ゴキユウ	ゴーパー	ゴシチ	ゴロク	メナラ	ゴヨオン	ゴサン	ゴニ	ゴイチ	メノジ	ヨンキユウ	ダリパー	ヨンシチ	ヨンロク	ダリハン

99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72
キユウパー				ガケハン					ガケ					バンガレン					バンド					ナツラ			

99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72
キユウキユウ	キユウハチ	キユウシチ	キユウロク	(キユウハン)	キワツラ	キユウヨン	キユウサン	キユウニ	キユウイチ	キワ	ハチキユウ	バンパン	ハチシチ	ハチロク	バンガ	ハチヨン	ハチサン	ハチニ	ハチイチ	バンド	ナナキユウ	ナツパ	ナナナ	ナナロク	ナツラ	ナナヨン	ナナニ

*符丁は現在使われていません

【指やり】 市場で、競り人と仲買人が青果物を競るときには、符丁を言いながら指やりを同時に使いました。指やりは、指の形で数字を表すものです。

松戸市北部
市場
土浦の私設
青果市場

日誌抄

平成十六年

1・1	館長講演「松戸の雑煮」 (鳥取二十世紀梨記念館)
・6	館長講演「七味唐辛子」
・7	仕事始
・7	全体会議
・21	地域と考える川づくり懇談
・28	流山市立南部中学校1年生見学
2・3	松戸市史跡めぐり来館
・4	全体会議
・5	松戸市史跡めぐり来館
・10	
・12	
・13	
・21	
・25	NHK・FM千葉出演
3・3	全体会議
・14	花桃植樹(坂川沿い)
・16	大勝院幼稚園卒園式
・18	新松戸北小学校卒業式
・	江戸川左岸圏域流域懇談会
・21	松戸市市史編纂委員会
・25	清流ルネッサンスⅡ会議
・30	理事会
4・1	館報17号発刊
・7	全体会議

4・7	新松戸北小学校入学式
・8	新松戸北中学校入学式
5・6	全体会議
・21	馬橋北小学校3年生見学
・22	松戸市立博物館学芸員来館
・31	理事会
6・3	全体会議
6・11	新松戸北小学校3年生見学
・17	松戸市緑化推進委員会
・	館長講演(新松戸北小学校教職員)
・25	流山高等学校3年生見学
7・1	全体会議
・15	松戸市緑化推進委員会
・17	夏休み子供歴史教室
・31	
・22	コアラTV取材協力
・	地域新聞取材協力
・	館長講演「すいとん作り」
・26	文化財審議委員会
・29	全体会議
8・5	道具の錆落とし開始
・6	子供歴史教室再会日
・28	全体会議
9・2	松戸市緑化推進委員会
・28	地域と考える川づくり懇談
10・1	全体会議
・7	中小企業大学校先生来館
・14	全体会議

10・22	新松戸西小学校評議委員会
・26	生涯学習大学専攻科OB会来館
・30	館長講演(馬橋福祉協会)
11・4	全体会議
・	「ムクドリ対策」会議
・5	幸谷小学校4年生見学
・	新松戸南小学校3年生見学
・6	館長講演(横須賀小学校4年生及び父母会)
・11	わかりやすい水質指標懇談
・13	文化財審議委員会
・14	コアラTV取材協力
・16	新松戸北小学校4年生見学
・18	新松戸南小学校3年生見学
・19	館長講演(小金小学校4年生)
・20	「柳原水閘百周年永久保存記念式典」
・25	新松戸北小学校2年生見学
・29	新松戸南小学校3年生見学
・	松戸市緑化推進委員会
12・2	全体会議
・	新松戸南小学校3年生見学
・17	「戦時中の食事」打合せ
・20	錆落とし終了
・26	大掃除
・	仕事納

〈資料館利用のご案内〉

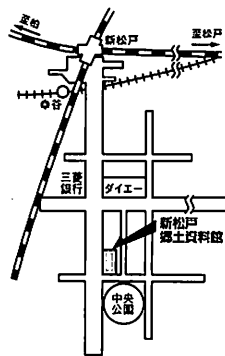
▽開館日 毎週木曜・日曜日
▽時間 10時～16時(ただし、入館は15時30分迄)

▽入館料 無料

▽所在地 松戸市新松戸3-27

▽TEL 047・344・1909

▽FAX 047・344・1909



編集後記

松戸で野菜生産の始まった頃の、東京近郊の主な野菜の生産地を地図にしました。

荒川区の三河島は菜の生産地で、当時はいろいろな葉菜を生産し、今では珍しいべか菜なども作っていました。白毛の枝豆は別名三河島などと呼ばれていました。